

2005 年度（平成 17 年度）

事業報告書



自 2005 年 4 月 1 日

至 2006 年 3 月 31 日

社団法人 企業メセナ協議会

1. 啓発・普及事業 (4,450 千円)

1.1 セミナー、シンポジウム (642 千円)

開催日	会場	テーマ・内容 (敬称略)	参加者
6月22日(水)	川村記念美術館 (千葉)	<p>■ フィールド視察</p> <p>「緑の庭園に囲まれた川村記念美術館を訪れる」</p> <p>協力：仲川憲四 (川村記念美術館館長)</p> <p>前田希世子 (同学芸員)</p>	<p>会員</p> <p>9名</p>
7月19日(火)	資生堂 本社 6階大会議室 (東京)	<p>■ 公開セミナー</p> <p>「アートの現場も無関係じゃない!!・・・『個人情報保護法』とメセナ」</p> <p>講師：鈴木靖 (シーピーデザインコンサルティング代表取締役社長)</p> 	<p>会員</p> <p>25名</p> <p>一般</p> <p>33名</p>
7月27日(水)	ツイン 21MID タワー20階 第5会議室(大阪)	<p>■ 公開セミナー～舞台芸術・芸能見本市 2005 大阪～</p> <p>「企業とアートNPOとのパートナーシップ」</p> <p>講師：井出上春香 (子どもとアーティストの出会い 設立準備室)</p> <p>根本ささ奈 (アサヒビール社会環境推進部)</p> <p>吉村真也 (TOA 経営戦略室広報課)</p> 	<p>会員</p> <p>一般</p> <p>52名</p>

開催日	会場	テーマ・内容（敬称略）	参加者
9月27日(火)	にしすがも創造舎（東京）	<p>■会員セミナー</p> <p>まるごと半日メセナ塾・その③</p> <p>「メセナ概論～協議会発足から最近の動向まで」</p> <p>講師：企業メセナ協議会事務局</p> <p>「メセナ現場レポート①：ACTION！アート＋子ども＋地域」</p> <p>講師：堤 康彦（芸術家と子どもたち代表）</p> <p>根本ささ奈（アサヒビール社会環境推進部）</p> <p>齊藤公治（NEC CSR 推進本部社会貢献室メセナエキスパート）</p> <p>「メセナ現場レポート②：先輩メセナ担当者に訊く」</p> <p>講師：樋口昌樹（資生堂企業文化部主事）</p> <p>田中典子（松下電器社会文化グループ東京社会文化チーム主事）</p>	<p>会員</p> <p>6名</p>
			
10月14日(金)	横浜トリエンナーレ2005会場（神奈川）	<p>■フィールド視察</p> <p>「横浜トリエンナーレ2005&BankART」視察</p> <p>協力：芹沢高志（横浜トリエンナーレ2005キュレーター）</p> <p>岡崎松恵（BankART館長）</p>	<p>会員</p> <p>10名</p>
2006年 1月27日(金)・ 28日(土)	金沢市内（石川）	<p>■フィールド視察</p> <p>「話題の金沢アートシーンをめぐるツアー」</p> <p>金沢市民芸術村、金沢21世紀美術館、石川県立音楽堂ほか</p> <p>協力：細川紀彦（金沢市民芸術村村長）</p> <p>吉岡恵美子（金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター）</p> <p>山腰茂樹（石川県立音楽堂館長）</p>	<p>会員</p> <p>一般</p> <p>15名</p>

開催日	会場	テーマ・内容（敬称略）	参加者
3月3日（金）	大阪府立女性総合センター（ドーンセンター） （大阪）	<p>■大阪21世紀協会主催/企業メセナ協議会共催セミナー 「企業とアートのお付き合いの仕方—メセナ&助成認定制度」</p> <p>①レクチャー「最近の企業メセナの動向について」 担当：協議会</p> <p>②事例紹介「企業とアートのお付き合いの仕方」 パネリスト：西 まゆ（近畿労働金庫地域共催センター） 谷本 裕（ニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール） 雨森 信（NPO remo 理事、インディペンデントキュレーター）</p> <p>③レクチャー「助成認定制度について」 講師：木村雅裕（大阪21世紀協会）</p>	<p>会員 一般 41名</p>

なお、本年度のセミナー事業は、文化庁の「芸術団体人材育成支援事業」に採択されました。

1.2 全国メセナ組織との交流 (57 千円)

全国メセナネットワーク（加盟 17 団体）の第 10 回全国会議が（特）大田まちづくり芸術支援協会の協力により、ネットワーク加盟団体関係者のほか、各地の自治体関係者、地元・大田区の一般市民など、合計約 80 名の出席のもと、東京都大田区の池上本門寺にて 9 月 16 日（金）・17 日（土）に次のとおり開催されました。

共催：大田まちづくり芸術支援協会、大田観光協会、イキイキ推進委員会、大田区、大田区文化振興協会

協賛：資生堂、損害保険ジャパン、トヨタ自動車、松下電器産業

後援：東京商工会議所、大田区産業振興協会、大田文化の森運営協議会

協力：東京 池上本門寺、池上地区商店会連合会、東京商工会議所大田支部、東京急行電鉄、東急バス、東京青年会議所大田区委員会

運営協力：片柳学園、日本工学院専門学校

開催日	内 容（敬称略）	会 場	参加者
9月16日(金)	○基調講演 「企業メセナ15年～地域文化の創造とまちづくり～」 講師：福原義春（企業メセナ協議会会長） ○シンポジウム「アートと企業とまちづくり」 コーディネーター： 田中常雅（大田まちづくり芸術支援協会 理事長） ■パネリスト： 太田雅文（東急電鉄鉄道事業本部 事業統括部 事業推進課長） 齊藤公治（NEC CSR 推進本部社会貢献室メセナエキスパート） 西田由紀子（よこはま市民メセナ協会会長） ■コメンテーター： 柄田明美（ニッセイ基礎研究所 社会研究部門 芸術文化プロジェクト室研究員） ○情報交流会 ○企画演奏会「新古今和楽奏」	池上本門寺 (東京)	約 80 名
9月17日(土)	○総会 ○加盟団体活動事例報告 ○意見交換会	第一鉄鋼ビル D 会議室 (東京)	

1.3 広報活動 (370 千円)

(1) 設立 15 周年の記者懇談会を開催
協議会設立 15 周年を迎えた機会に、主要マスコミ媒体の記者を招き、福原会長出席のもとに下記の懇談会を開催しました。

開催日	内 容 (敬称略)	会 場	参加者
4 月 19 日 (火)	○就任挨拶 (加藤専務理事) ○「企業メセナ 15 年の回顧と今後の展望」(福原会長) ○質疑応答・懇談 など	資生堂 本社 9 階応接室 (東京)	全国紙・通信社 (朝日・読売・日経・共同・時事)の文化部より記者 7 名

なお、本件については、次の媒体に関連記事が掲載されました。

- ① 読売新聞「ひと」(4 月 26 日付夕刊)
- ② 日本経済新聞「文化往来」(5 月 13 日付朝刊)

(2) 「メセナアワード 2005」選考結果記者発表会

10 月 4 日 (火)、東京銀座の資生堂ワードにおいて、「メセナアワード 2005」の選考結果について、記者発表を実施しました。

本会には、マスコミ関係者約 30 名のほか、受賞企業関係者、文化庁関係者など合計約 60 名の出席がありました。

(3) プレスリリースによる情報発信

- ① 「メセナアワード 2005」募集告知 (4 月 4 日)
- ② 2005 メセナ白書シリーズ
『いま、地域メセナがおもしろい—企業+アート+まちの実践』の刊行 (6 月 10 日)
- ③ 「2005 年度メセナ活動実態調査」結果発表 (10 月 24 日)
- ④ 「設立 15 周年記念シンポジウム in 福岡」告知 (2006 年 1 月 24 日)

2. 情報集配・仲介事業 (24,010 千円)

2.1 情報誌の発行 (5,986 千円)

発行7年目を迎え、より一層読者の期待に応えていく誌面づくりをめざし、ニューズレター『メセナ note』を全面リニューアルし、16頁・A5判の情報誌として37号～42号を次の内容で発行しました。

なお、本誌の発行にあたっては、次の会員企業8社に協賛いただきました。

協賛：アサヒビール
 サントリー
 資生堂
 損保ジャパン
 第一生命
 大日本印刷
 松下電器
 ワコールホールディングス
 (50音順)



(敬称略)

号	巻頭言	トップ・インタビュー Close Up	特集 [寄稿・概論・Data]	数字のうしろに見えるメセナ —「実態調査」こぼれ話/メセナにまつわるお金の話
37 5/15 発行	「専務理事新任あいさつ」 加藤恒夫 (企業メセナ協議会専務理事)	「協議会設立15周年を迎えて」 福原義春 (企業メセナ協議会会長)	■「ニッポンのメセナ」を俯瞰する ◇社会とのリンクが多層化したメセナ 熊倉純子 (東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科助教) ◇「メセナあれこれ」 ◇企業メセナ協議会15年の歩み	◇担当部署名から考える各社のメセナの位置づけ ◇企業へのアプローチの仕方
38 7/15 発行	「芸術の創造力がまちを刺激する」 蓑 豊 (金沢21世紀美術館館長・大阪市立美術館長)	「『文化』の創造性が都市を再生する」 パトリック・ランベール (ナント市第一副市长) ヤニック・ガン (ナント市副市長「文化担当」)	■文化で「まち」が元気になる ◇アーティストに未来を託す—人間都市の復権にかける 仏ナント市 吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室長) ◇助成認定制度の利用実績から見る、地域のメセナ	◇メセナで地域との関係を深めた企業 ◇企画書・収支計算書作成のポイント

号	巻頭言	トップ・インタビュー Close Up	特集 [寄稿 ・ 概論 ・ Data]	数字のうしろに見えるメセナ―「実態調査」こぼれ話／メセナにまつわるお金の話
40 11/15 発行	「子どもの想像力を育むアートの教育」 佐藤 学 (東京大学大学院教育学研究科教授)	「暮らしの今と明日の夢を提案して」 中村胤夫 (三越代表取締役会長)	■子どもとアート ◇子どもへのアウトリーチは「旭山動物園」である～音楽の現場から～ 児玉 真 (トリトン・アーツ・ネットワークディレクター) ◇子ども・青少年を対象とした社会貢献・メセナ	◇メセナ アワード2005 受賞活動紹介 ◇業種別で見るメセナの傾向 ◇企業への依頼プロセス
41 1/15 発行	「金で動かぬ人間は始末が悪い」 市村作祐雄 (アートネットワークジャパン代表)	文化も経済も「地域発」 井坂 榮 (イトーヨーカ堂代表取締役社長・最高執行責任者)	■メセナとアートNPO 「企業メセナ発展のために―アートNPO との連携を」 加藤種男 (アサヒビール社会貢献推進副理事) ◇アートNPO の現場が薦める～日頃、頼りにしているこの1冊	◇メセナ担当者100人に聞きました ◇メセナの寄付と税制
42 3/15 発行	〈とを行う等〉への教育 小暮宣雄 (京都橘大学文化政策学部教授)	手作りのメセナで企業・社員・地域を結ぶ 平野浩志 (損害保険ジャパン代表取締役社長)	■アートマネジメント教育 市民社会の「つなぎ」手達 伊藤裕夫 (静岡文化芸術大学文化政策学部教授) ◇アート・マネジメント情報サイト「ネットTAM」	◇「評価」をどう考えるか ◇寄付を集めやすくする助成認定制度とは？

2.2 情報システムによる発信 (7,467 千円)

(1) ホームページによる情報発信

ホームページ (<http://www.mecenat.or.jp/>) にて、会員企業・団体のメセナ活動をはじめメセナ関連情報を積極的に発信しました。

(2) データベース「メセナビ」 (<http://www.mecenavi.info/>) の検索機能の改良と利便性の向上をはかるべく、全面リニューアルしました。また、上半期には、2004 年度の財団データを更新し、下半期には「2005 年度メセナ活動実態調査」の結果にもとづく企業データを掲載しました。

2.3 コーディネート事業（収入：4,490千円、支出：1,799千円）

会員企業からの要請を受けて、次のコーディネート事業を本年度も引き続き実施しました。

企業・団体名	業 務 内 容
トヨタ自動車	①トヨタ・アートマネジメント講座（TAM）会議録作成（名古屋大会 2003+東京会議 2004） ②アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」の企画・運営 http://www.nettam.jp/ なお、2005年度に計画していた新たなコーディネート事業は2006年度以降の実施となりました。
アサヒビール芸術文化財団	美術展シリーズアサヒ・アート・コラボレーション「大凶かえって吉の兆—おみくじプロジェクト：岩井成昭版」（2005年6月4日～7月3日、すみだリバーサイドホール・ギャラリー）の企画・制作

2.4 出版（1,716千円）

(1) 2005 メセナ白書シリーズ

『いま、地域メセナがおもしろい—企業+アート+まちの実践』の発行シリーズ1冊目『メセナマネジメント』（2003年）に続き、『いま、地域メセナがおもしろい』を刊行しました。

今回は「地域と企業メセナ」に焦点を当て、全国各地の豊かな地域文化を支えてきた多くの地場企業によるメセナのレポート記事を中心に掲載しました。

- （社）企業メセナ協議会編著
- ダイヤモンド社発行
- A5判 並製 264頁
- 定価 本体2000円+税
- 6月16日（木）発売



【地域メセナ取材レポート】

紅三・鈴廣蒲鉾本店・榎一市村酒造場・伊予銀行・淡海自動車工業・湯布院町 亀の井別荘/由布院 玉の湯ほか・林原・田苑酒造・飛騨庭石・ベネッセコーポレーション

【寄稿】

「メセナの新局面へ—取材レポートを読んで—」榎山紘一氏（東京大学名誉教授）
「企業メセナ15年」福原義春（企業メセナ協議会会長）

【その他】

地域メセナに関するデータ分析や、役立つ地域メセナサイト一覧、全国の企業

文化施設ガイド、地域メセナ助成/顕彰情報、企業が発行する地域文化誌一覧等

(2) メセナ セミナーシリーズ

本年度は、設立 15 周年記念事業に関連した内容で、次の 2 号を発行しました。

No.	内 容	備 考
8	文化フォーラム 「文化の地方分権がフランスを変える・・・ナントの実践」	2005 年 4 月 28 日 のフォーラム収録
9	企業メセナ協議会設立 15 周年記念シンポジウム in 福岡 「文化で魅力ある地域づくり～市民、企業、行政の役割～」	2006 年 2 月 8 日の シンポジウム収録

3. 調査研究事業（10,482千円）

3.1 「2005年度メセナ活動実態調査」の実施（4,299千円）

企業によるメセナ活動の実態調査は、調査部会の協力のもとに4月～5月、4,215社を対象に実施し、634社から回答を得ました。

- このうち2003年度にメセナを実施した企業は424社で総活動件数は2,753件、1社平均6.5件でした。
 - 活動費総額については、回答のあった372社の1社当たり活動費は、前年度より137万円減の6,252万円、経年で比較可能な6年連続回答企業（93社）の1社当たり活動費は、1億1,028万円で前年度に比べて大幅な変動はありませんでした。なお、本事業は、文化庁の芸術文化団体人材育成支援事業に採択されました。
- ※ 本調査の結果については『メセナnote 別冊』『メセナレポート2005』、協議会ホームページ及びデータベース「メセナビ」に掲載しました。また、主要媒体に個別訪問して案内したほか、全国のメディアにプレスリリースを配布しました。

3.2 研究活動（129千円）

(1) 研究部会（3千円）

本年度は、部会活動は休止し、次年度に向けて研究テーマの検討を行いました。

(2) 実務担当者勉強会（メセナ若手ネットワーク）（126千円）

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会を下記のとおり実施しました。

開催日	会場	テーマ・内容（敬称略）	参加者
7月14日（木）	空堀商店街界限 （大阪）	「地域文化を活かしたまちづくり～大阪・空堀 地区視察」 講師：山根秀宣（からほり倶楽部・理事）	会員10名
10月25日（木）	企業メセナ協議 会事務局（東京）	「どう考える？メセナとCSR」	会員15名
2006年 1月27日（金）	ニッセイ同和損保 フェニックスタワー （大阪）	「社内理解を得るためのメセナの評価とは？」 ホスト：谷本 裕（ニッセイ同和損保㈱内ザ・ フェニックスホール）	会員12名
2月2日（木）	第一鉄鋼ビル D会議室（東京）	「メセナの広報研究：メディアとのコミュニケ ーション」 ゲスト：白木 緑（日本経済新聞社文化部記者）	会員32名

4. 顕彰事業（14,206千円）

4.1 「メセナ アワード2005」(9,007千円)

本年度も文化庁との連携により、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施し、メセナ大賞部門には104件、文化庁長官賞部門には、38件の応募がありました。

応募案件について大賞部会の協力のもとに約4ヵ月にわたる調査・取材をおこない、8月29日（月）・9月12日（月）の2回の審査会で次の企業および団体の受賞を決定し、11月25日（金）に東京港区青山のスパイラルホールにて、350名の出席者のもとに贈呈式を実施しました。



【メセナ大賞部門】

- メセナ大賞 ● (株) 三越
日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開
 - アートスタイル経営賞 ● (株) 板室観光ホテル大黒屋
自然と現代アートを融合させた斬新な旅館経営
 - 児童文化賞 ● (株) イトーヨーカ堂
子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施
 - 服飾文化賞 ● (財) 京都服飾文化研究財団
「COLORS ファッションと色彩: VIKTOR&ROLF&KCI」展の開催
 - 市民文化賞 ● (株) 信濃毎日新聞松本専売所
劇場「ピカデリーホール」による映像と舞台芸術活動への支援
 - 文化財保存賞 ● (財) 住友財団
国内外の文化財維持・修復事業助成
 - アート情報文化賞 ● 大日本印刷 (株)
ウェブサイト「DNP Museum Information Japan アートスケープ」の運営
 - 地域文化賞 ● 田苑酒造 (株)
「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施
 - 審査委員奨励賞 ● (株) 崎陽軒、ほか8団体*
「大倉山水曜コンサート」の継続的な運営支援
- * (財) アサヒビール芸術文化財団、大倉山商店街振興組合、タカナシ乳業(株)、パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)、(財) はまぎん産業文化振興財団、富士食品工業(株)、矢島邦茂法律事務所、(株) 有隣堂

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞 ● (株) 損害保険ジャパン

アートを活かした地域活動——損保ジャパン東郷青児美術館
／人形劇「稲むらの火」



※ なお、「メセナnote」の読者が投票で選ぶ、本年度の「メセナnote 読者賞」には、下記の活動が受賞しました。

(株) イトーヨーカ堂 子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施

[2005 年度審査委員] (敬称略)

池上 惇 (京都橘大学教授／京都大学名誉教授)

柏木 博 (デザイン評論家・武蔵野美術大学教授)

南條史生 (森美術館副館長)

松岡和子 (演劇評論家・翻訳家)

森まゆみ (作家・谷根千工房主宰・東京国際大学教授)

渡辺 裕 (東京大学大学院教授・美学芸術学)

福原義春会長・理事長

[2005 年度大賞部会] (敬称略)

若林 覚 (サントリー) ※部会長

朝子正三 (ワコールホールディングス)

市川哲夫 (第一生命)

菅沼比呂志 (リクルート)

勝呂 栄 (トヨタ自動車)

富田秀美 (ソニー)

久野敦子 (セゾン文化財団)



5. 国際交流事業（740 千円）

5.1 各国のメセナ組織との交流（60 千円）

(1) 5月5日（木・祝日）

シンガポール The Art House の Phan Ming Yen 氏（Artistic Development Director）が研究活動のために来局され、日本の企業メセナについて取材を受けました。

(2) 8月10日（水）

韓国メセナ協議会（Korean Council for the Arts）より Kim Hakyong 氏（General Business Dept. Manager）ら事務局員 2 名が来局。日本の税制と助成認定制度のしくみについて取材を受けました。

(3) 9月26日（月）～9月30日（金）

韓国メセナ協議会（Korean Council for the Arts）が、毎日経済新聞（Maeil Business Newspaper）とのキャンペーンの一環でソウルより来日。Chan Park 氏（Executive Director）をはじめとする同協議会のスタッフ 3 名と、会員企業、毎日経済新聞記者 Ji-Hyung Lee 氏の計 15 名が、日本における企業メセナの視察を行いました。この視察に際して、下記のとおり会員企業 5 社に協力いただいたほか、事務局では当日のアテンドや毎日経済新聞による福原会長への取材対応などを行いました。



日 程	訪問企業など
9月26日（月）	企業メセナ協議会事務局にて、日本の企業メセナに関するレクチャー および韓国企業メセナ協議会の紹介
9月27日（火）	大日本印刷、資生堂訪問
9月28日（水）	損害保険ジャパン訪問 毎日経済新聞（韓国）による福原会長へのインタビュー
9月29日（木）	NEC、アサヒビール訪問

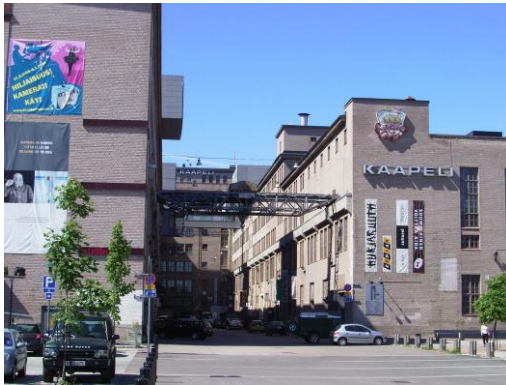
5.2 EU・日本創造都市交流視察への参加

「2005 年日・EU 市民交流年」を記念し、横浜市と（財）横浜市芸術文化振興財団が EU6 カ国と共同で行った 6/19-29 の「EU・日本創造都市交流 2005」視察に事務局から 1 名（若林朋子）が参加し、フィンランド、ドイツの創造都市の事例を視察しました。

※ 視察結果報告会

- ① 7 月 28 日（木） EU 視察報告会 British Council にて
- ② 11 月 15 日（土） 第 5 回アート NPO フォーラム（前橋）にて
- ③ 11 月 25 日（金）～26 日（土）

シンポジウム「アートが都市社会の新しい地平を切り拓く～EU 諸国の創造都市戦略を巡って」（横浜市）



ケーブル・ファクトリー
「KAAPELI TEHDAS (Cable Factory)」
フィンランド / ヘルシンキ

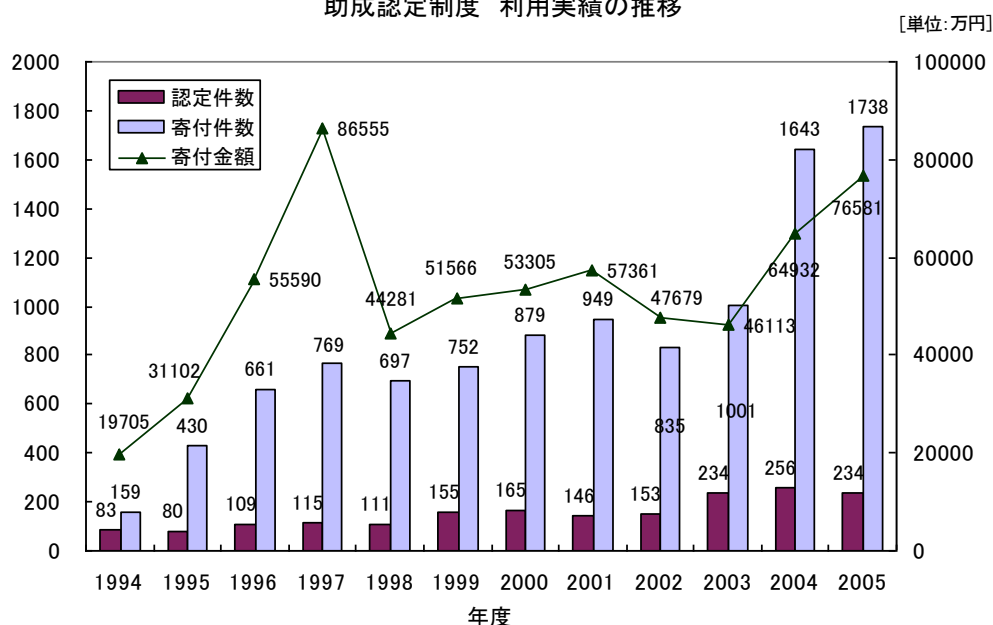
6. 助成事業（業務費 12,825 千円）

6.1 助成認定制度利用状況

前年度に比べて、申請件数、認定件数がともに一昨年度並みに減少したにもかかわらず、寄付件数および寄付金額が大幅に増加しました。

年度	1994	2000	2001	2002	2003	2004	2005
申請件数	103	176	151	155	246	276	245
認定件数	83	165	146	153	234	256	234
寄付件数	159	879	949	835	1,001	1,643	1,738
金額(万円)	19,705	53,305	57,361	47,679	46,113	64,932	76,581
1件当り(万円)	123	60	60	57	46	40	44

助成認定制度 利用実績の推移



6.2 「文化芸術活動に対する民間寄付の実態調査報告書」の作成

2005年度の助成認定制度の利用実績をもとに集計・分析したデータを「民間寄付の実態に関する調査報告書」としてまとめました。

本報告書の内容は、①寄付者（民間企業及び個人）に関する分析、②認定を受けた活動に関する調査結果からなっており、とくに今後、本制度を利用したいと考える芸術文化団体関係者にとって貴重な参考資料になっています。

なお、本報告書の作成は、文化庁の芸術文化団体人材育成支援事業として採択されました。

7. 15周年事業 (5,053千円)

7.1 15周年記念文化フォーラム」開催

東京国際フォーラム開催された「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭(4月29日～5月1日)にあわせ、フランス・ナント市より来日されたランベール第一副市長とガン副市長(文化担当)を講師に迎えて、15周年記念文化フォーラム「文化の地方分権がフランスを変える・・・ナントの実践」を以下の内容で実施しました。

共催：東京国際フォーラム、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン熱狂の日音楽祭実行委員会

協力：三菱地所

企画協力：根本長兵衛氏(政策研究大学院大学客員教授)

開催日	内 容 (敬称略)	会場	参加者
4月28日 (木)	<p>■主催者あいさつ 福原義春(企業メセナ協議会会長、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン熱狂の日音楽祭実行委員会特別顧問)</p> <p>■講演「フランスにおける文化の地方分権と都市再生」 講師：パトリック・ランベール(ナント市第一副市長) ヤニック・ガン(ナント市副市長(文化担当))</p>  <p>■トークセッション「社会・経済を変える創造利の可能性とは」 ○パネリスト： パトリック・ランベール(ナント市第一副市長) ヤニック・ガン(ナント市副市長(文化担当)) ○コメンテーター： 熊倉純子(東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科) 吉本光宏(ニッセイ基礎研究所社会研究部門芸術文化プロジェクト室長)</p>	丸ビルホール(東京)	会員・一般 市民など 226名

7.2 「15周年記念シンポジウム in 福岡」を開催

設立15周年を記念して、協議会としては九州地区初となるシンポジウム「文化で魅力ある地域づくり」を下記のとおり開催しました。

共催：福岡市文化芸術振興財団、福岡市 後援：福岡県、佐賀県企業メセナ協議会

協賛：ワコール 協力：福岡経済同友会、アサヒビール、三和酒類、村岡総本舗、イムズ

制作：ミュージアム・シティ・プロジェクト（MCP）

開催日	内容（敬称略）	会場	参加者
2006年 2月8日(水)	<p>■主催者挨拶 加藤恒夫（企業メセナ協議会専務理事）</p> <p>■歓迎挨拶</p> <p>■基調講演 「深化する企業メセナ、15周年の歩みと今後の展望」 中江利忠（企業メセナ協議会副会長）</p>  <p>■企業トップ討論 「地域社会を豊かにする文化の力と企業の役割」</p> <p>○パネリスト： 小田原智一（九州電力常務取締役） 西 太郎（三和酒類代表取締役会長） 村岡安廣（村岡総本舗代表取締役社長） 中江利忠（企業メセナ協議会副会長）</p> <p>○モデレーター： 加藤種男（アサヒビール社会環境推進部副理事、企業メセナ協議会研究部会長）</p> 	イムズホール (福岡)	300名

開催日	内 容	会場	参加者
	<p>■ トークセッション</p> <p>「市民+企業+行政のパートナーシップが育むまちの魅力」</p>  <p>事例報告者：</p> <p>江藤応樹（だざいふ☆スタードームフェスティバル2005 プロジェクトチーム/CAT）</p> <p>五島明子（うずめ劇場・前制作、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター専任講師）</p> <p>山野真吾（ミュージアム・シティ・プロジェクト運営委員長）</p> <p>コメンテーター：</p> <p>加藤種男（アサヒビール社会環境推進部副理事、企業メセナ協議会研究部会長）</p>		

7. その他の活動

7.1 講座担当・寄稿依頼等への対応 ※事務局対応分のみ

依頼内容	依頼元	名称・内容(期間・開催日)
委員	横浜市都市計画局	都心部歴史的建築物の文化・芸術活用実験事業推進委員会
委員	トリトン・アーツ・ネットワーク	評価委員会
非常勤講師	桜美林大学	「社会文化・メセナ論」(4/1-9/15)
非常勤講師	跡見学園女子大学	「企業メセナ・フィランソロピー」(10/1-3/31)
講演	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	企業メセナ協議会の最近の活動の特徴(7/10)
講演	浜松市アクトシティ音楽院	主催者養成セミナー(9/17)
講演	高知県文化財団	美術館活性化計画関連セミナー(9/21)
講演	大分県企画振興部文化振興課	「企業メセナ研修会」(10/11)
講演	映画美学校	上映専門家養成講座「ファンドレイジングー企業協賛と公的助成」(11/17)
講演	千葉県環境生活部	「企業メセナ情報交換会」(2/10)
講演	慶應義塾大学文学部	「アートマネジメント講座」(1/6)
講演	昭和音楽大学音楽芸術運営学科	「アートマネジメントコース」(1/12)
講演	信州大学	オープニングセミナー(1/25)
レクチャー	HEC 経営大学院(仏)	エグゼクティブ研修(4/13)
レクチャー	学習院女子大学大学院	国際文化交流研修(8/24)
レクチャー	政策研究大学院大学	垣内研究室講義(10/28)
パネリスト	アートNPOリンク	第3回アートNPOフォーラム(11/5-11/6)
執筆	宣伝会議	「人間会議」～豊かさの新基準(2005冬号)

7.2 インターンシップ研修生の受け入れ

2005年度は、各大学の学生5名をインターンシップ研修生として受け入れ、資料やデータ整理をはじめ、さまざまな業務の補佐等を担当していただきました。

7.3 主な会議等の開催状況

会議名	回数	会議名	回数
理事会	3回	大賞部会	4回
評議員会	1回	助成選考委員会	6回
通常総会	2回	大賞審査会	2回
幹事会	8回	メセナ推進懇談会	2回

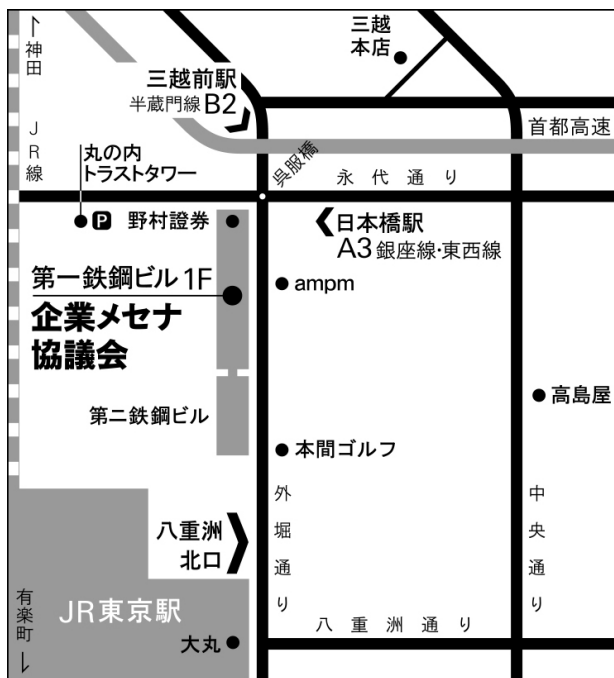
7.4 事務所を移転

6月25日(土)、事務局オフィスを有楽町マリオン13階より、下記に移転しました。

<新住所>

東京都千代田区丸の内1-8-2 第1鉄鋼ビル1階 (〒100-0005)

電話番号：03-3213-3397、FAX番号03-3215-6222 (変更なし)



[アクセス]

- ・ JR 東京駅
八重洲北口より徒歩4分
- ・ 東京メトロ銀座線・東西線日本橋駅
A3出口より徒歩2分
- ・ 東京メトロ半蔵門線三越前駅
B2出口より徒歩2分

以上